

今週のビルマのニュース
2009年6月26日【0925号】

武器を積んだ北朝鮮貨物船がビルマに？

・米国防当局者は22日、ミサイル部品や核関連物資を積載した疑いがある北朝鮮貨物船カンナム1号がビルマに向かっている可能性があることを明らかにした。国連安保理が12日に採択した北朝鮮に対する追加制裁決議に基づき、米海軍が追跡している。ビルマ軍政は24日、カンナム1号について情報はないとしたが、コメ数千トン積んだ別の北朝鮮貨物船が週末にビルマに到着する予定であることを明らかにした。北朝鮮とビルマは2007年4月に国交を回復。同年5月にカンナム1号が小型武器をビルマに運搬したとされる（25日付読売、24日付AFP、APほか）。

北朝鮮がトンネル掘削技術をビルマに～続報

・軍政が北朝鮮の技術協力を得て緊急避難用のトンネルや地下施設等を建設していることが明らかになった（9日付イェール・グローバル。写真有）。民主化運動系メディアのDVB（本部オスロ）によれば、軍政は10年以上前から地下施設の建設を進めており、600～800の地下トンネルが国内各地に広がっている。光ファイバー設置工事に見せかけて作業しているとの情報も。今月上旬に情報が流出して以来、軍政は情報流出源を特定しようと調査を開始し、ここ数日で複数の軍政高官が解雇されている（24日付DVB）。

スーチー氏、誕生日に寄せられた励ましの声に感謝

・民主化指導者アウンサンスーチー氏が64歳の誕生日を迎えた19日までに、氏の釈放やビルマの民主化を求める1万6千以上のメッセージが世界中からインターネット上の「64キャンペーン」に寄せられた。22日にスーチー氏と面会した弁護士によれば、氏はメッセージについて知らされ「直接お礼を言うことができず残念」と述べた（22日付APほか）。

・19日夜には上記「64キャンペーン」のウェブサイトがサイバー攻撃を受けて一時利用不能となった。これまでも民主化運動支援団体のウェブサイトがビルマを発信地としたサイバー攻撃を受ける事件が起きていることから、今回の攻撃にも軍政が関与しているとの見方が強い（21日付上記サイト）。

・19日には世界各地で記念行事があり、東京では在日ビルマ人ら約200人が、スーチー氏を含めた政治囚の釈放を願って小鳥を放した。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など
新たな発表はなし。

裁判は実質面では進まず、証人に関する処理が続く

・スーチー氏の裁判で、特別法廷が認めなかった氏の証人候補3人に関する処理が続いている。高裁が1人を証人として認め、残り2人も証人として認めるべきとするスーチー氏の訴えを最高裁が受理し、24日に弁論が開かれた。判決がいつ出るかは不明（24日付AFPほか）。26日に予定されていた特別法廷での審理は7月3日に延期された（26日付共同）。

【背景】軍政は5月、突然訪れた米国人男性を家に入れたことが来客を禁じる自宅軟禁の規則に違反したとして、スーチー氏を起訴した。起訴の背景には、来年予定の総選挙を前に国民の支持を集める氏の拘束期間を延長したいという軍政の政治的動機があり、有罪判決（最長禁固5年）が出るとの見方が大勢。

国連のガンバリ特使がビルマを訪問

・国連のガンバリ事務総長特別顧問が26日、ビルマ入りした。27日まで滞在し、潘基文国連事務総長の訪問の調整を行い、民主化運動関係者とも面会する予定（27日付日経ほか）。事務総長はガンバリ氏の報告を受け、訪日（30日～2日）後にビルマを訪れるかを最終的に判断すると見られる。

イベント

・アウンサンスーチー氏起訴へ抗議 ビルマ軍政に対してスーチー氏と全ての政治囚の釈放を求める抗議行動 在日ビルマ人共同行動実行委員会（ビルマ大使館前、22～26日15～16時）

・フォトジャーナリスト 宇田有三氏講演会「知らされていないビルマ～「情報」の向こう側にある現実から、私たちの足元を考える」DAYSJAPAN 関西サポーターズクラブ主催（大阪市立住まい情報センター3階ホール、7月4日14時～）

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165